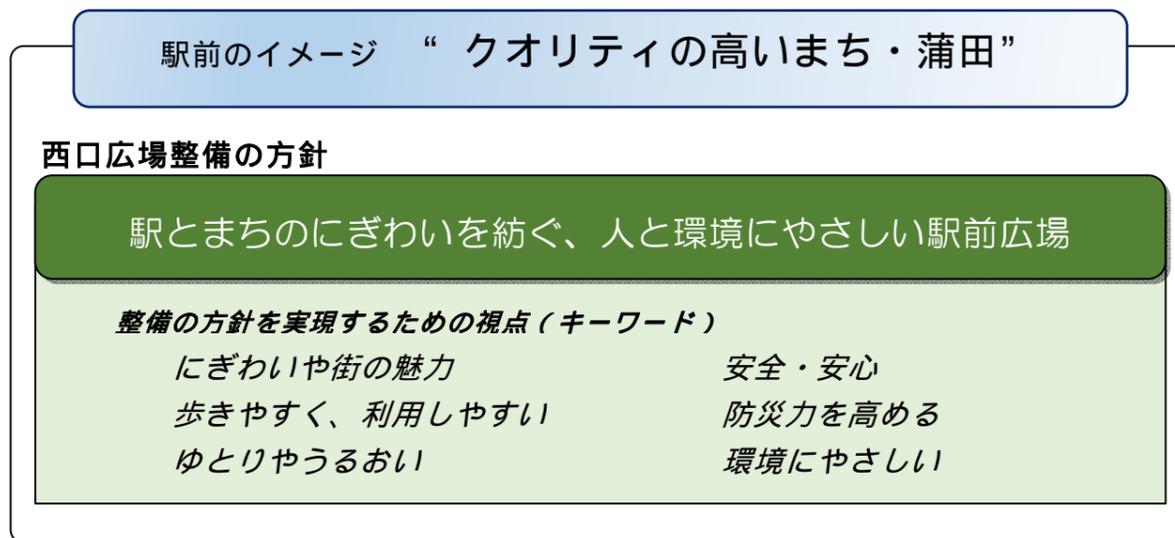
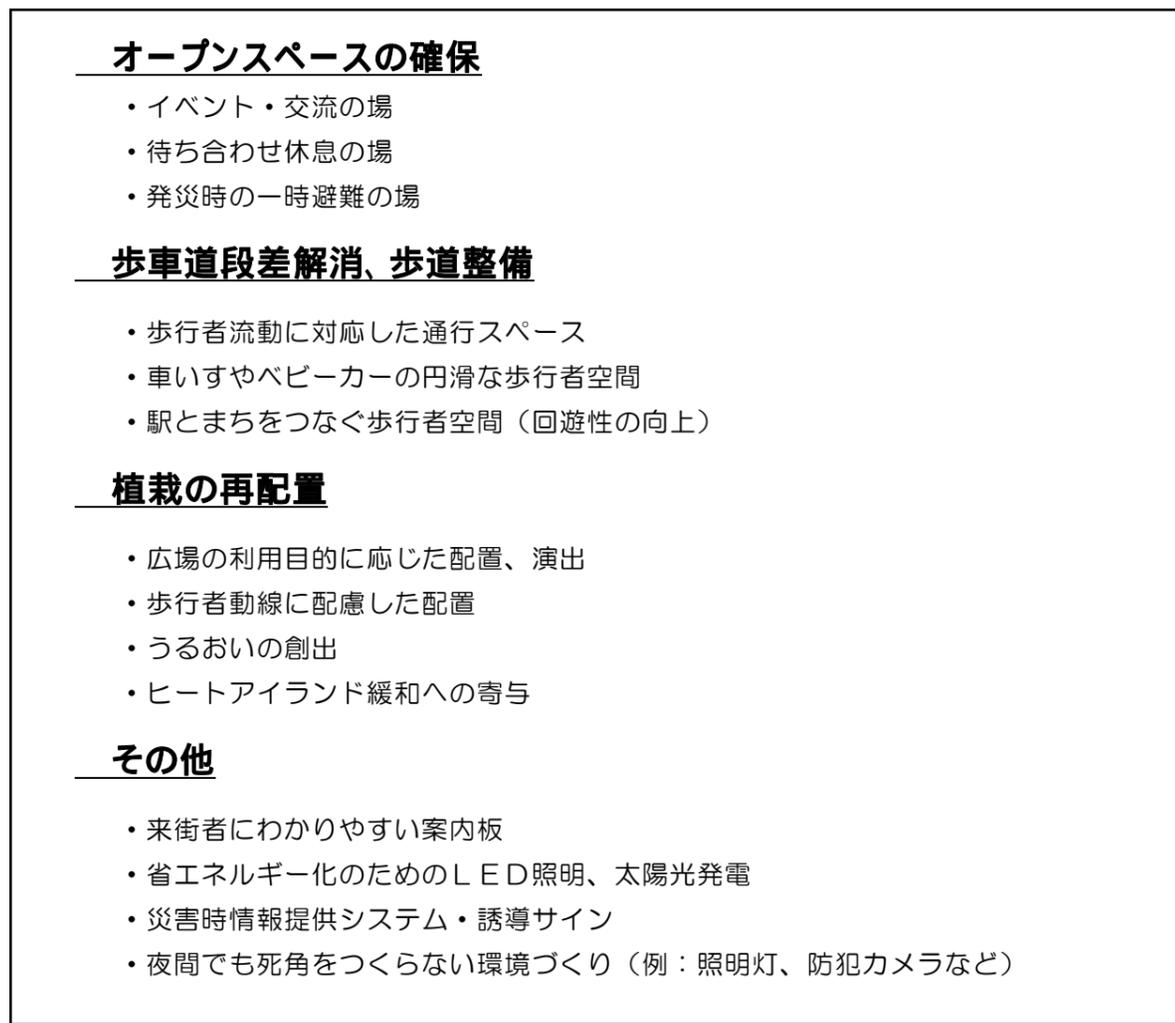


## 5. 西口駅前広場整備の方針と具体的な取り組み

- 西口駅前空間について、駅前のイメージ “クオリティの高いまち・蒲田” から得られた西口駅前広場整備における方針に沿って具体的な取り組み内容を挙げる。



### 西口駅前広場 初動期整備における具体的な取り組み

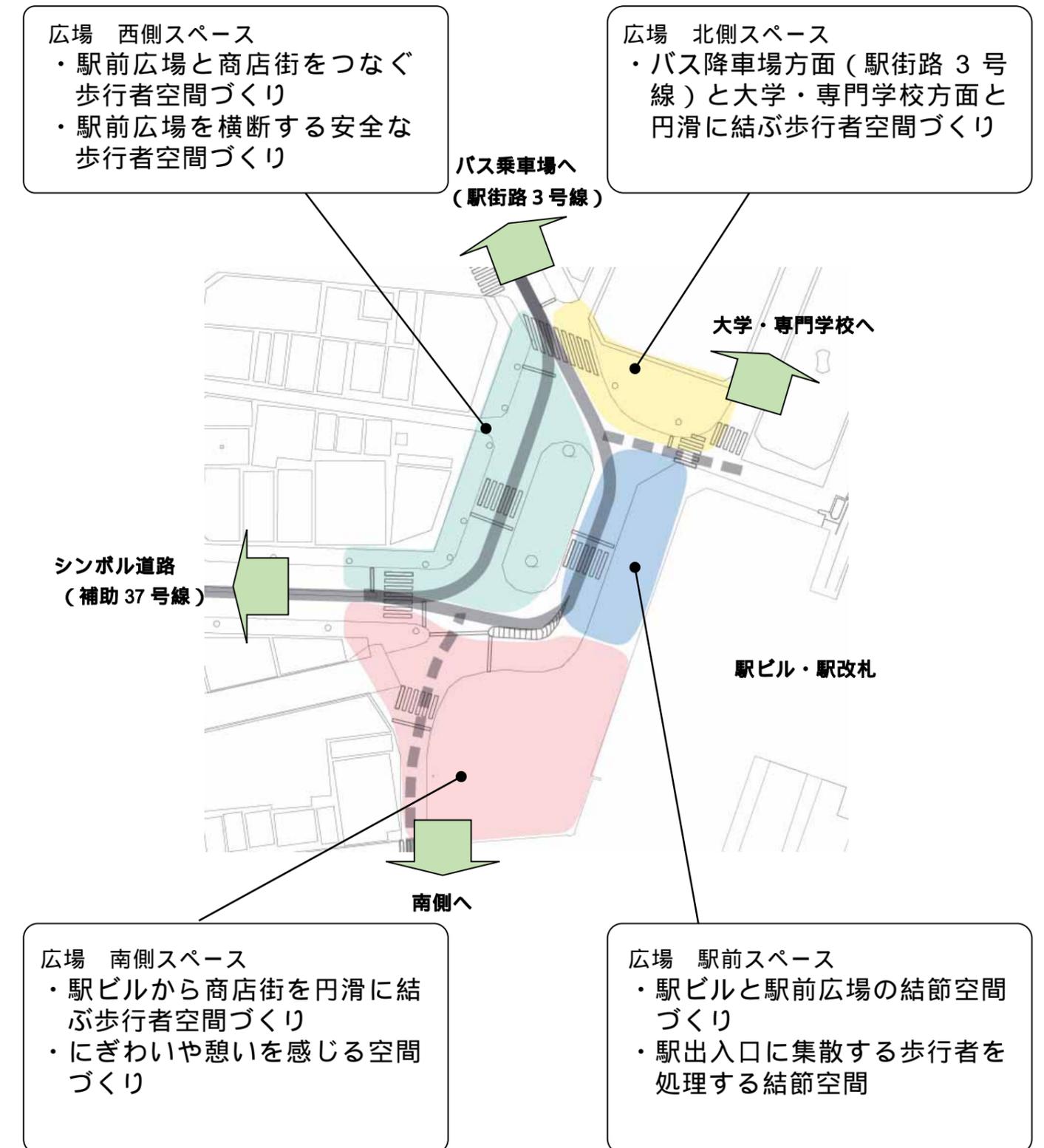


## 6. 西口駅前広場 スペース別の環境形成と整備イメージ

### 西口駅前広場 特色に合わせた環境形成

#### 1) 4つのスペースの考え方

- 駅やまちとのつながりなど場所の特徴に合わせて、蒲田駅西口駅前広場を以下の4つのスペースに分ける。
- スペース毎に、歩行者環境の改善を重視し回遊性や一体感のある環境形成を図る。



## 2) 広場のスペース別 環境形成と整備イメージ

・現況課題や特徴をふまえ、歩行者環境の改善を重視した初動期整備内容について、スペース毎の「計画の基本方針」および実現のための「整備内容・イメージ」を以下に整理する。

### 広場 北側スペース

#### 計画の基本方針

・バス降車場方面（駅街路3号線）と大学、専門学校方面を円滑に結ぶ歩行者空間づくり

1. バス降車場方面と円滑に結ぶ歩行者空間の形成
2. 大学・専門学校方面と円滑に結ぶ歩行者空間の形成
3. まとまったオープンスペースの確保

#### <初動期整備 イメージ>

1. バス降車場方面と円滑に結ぶ歩行者空間の形成
2. 大学・専門学校方面と円滑に結ぶ歩行者空間の形成

#### 円滑な動線確保のための適切な植栽配置

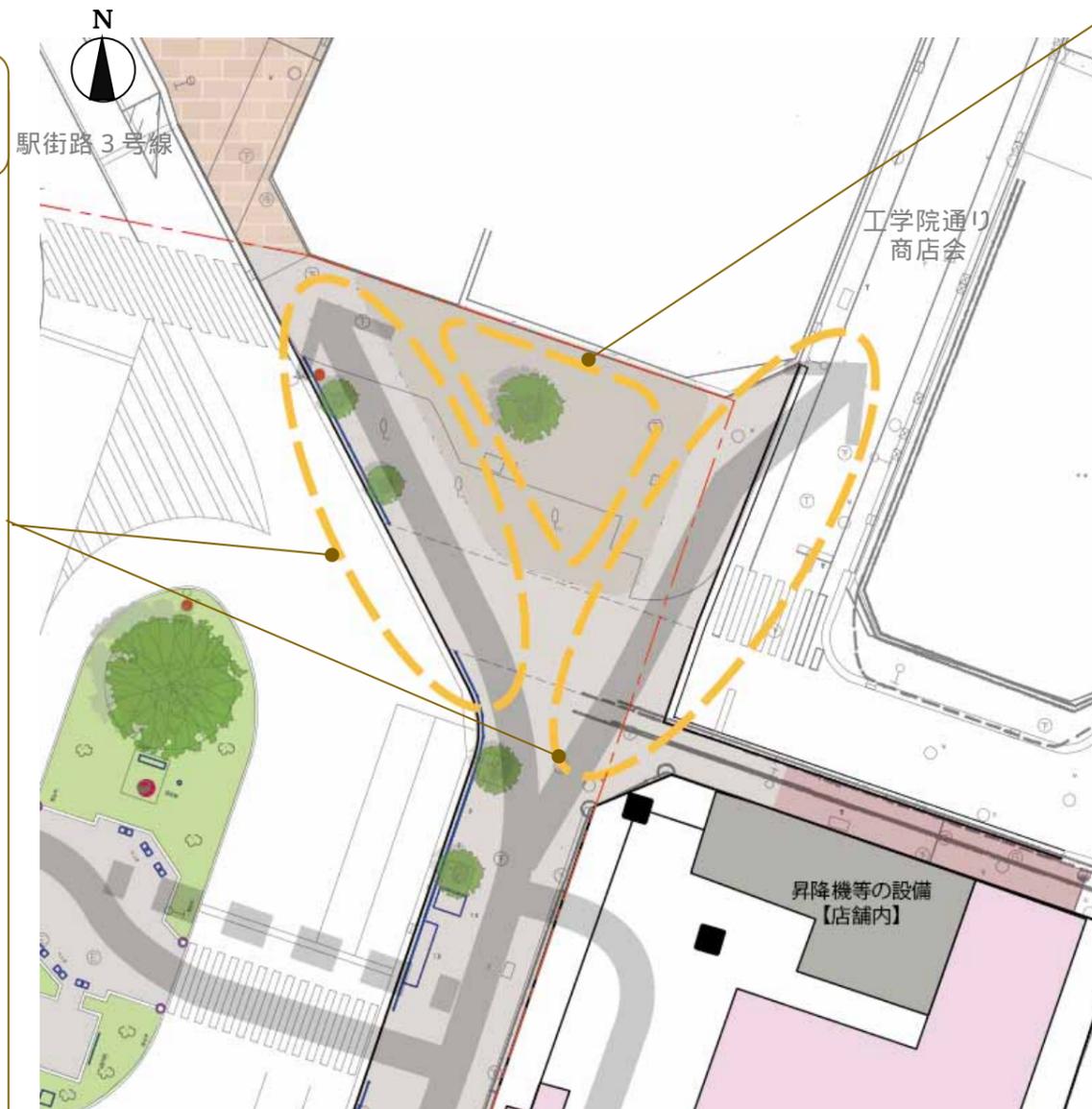


植栽帯の撤去により円滑な歩行者動線を確保  
(再編プロジェクト素案より抜粋)

#### 歩車道の段差解消



歩車道がフラットなさかさ川通り



凡例	: 樹木	: 街灯	: ボラード	: ベンチ	: 計画のポイント
	: 植込み	: 信号機・標識	: 横断防止柵	: 案内板	: 歩行者動線
	: 電話BOX	: シェルター	: 電線地中化 地上器等	: 既存の舗装イメージ	

#### 3. まとまったオープンスペースの確保

#### 特徴的な場所であることを明示するシンボルの配置



目印となる高木、ベンチ

省エネルギー化のための太陽光パネル・風力発電を活用した街灯

#### 待合せや休息の場として明示する舗装デザイン



さかさ川通りのポケットパーク

計画の基本方針

- ・ 駅出入口に集散する歩行者を円滑に処理する結節空間
- ・ 来街者への適切な情報提供

1. 統一的なサイン計画による目的地への適切な誘導
2. 駅ビル前面、南北方向を結ぶ歩行者空間の確保
3. 西側方面を円滑に結ぶ歩行者空間の形成

<初動期整備 イメージ>

1. 統一的なサイン計画による目的地への適切な誘導

駅出入口の位置と合わせて、適切な場所にサインを設置



サイン整備指針

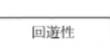
◆ 誰のために整備するのか（顧客）

区民（大田区で暮らす人）

- ・ 誰にもわかりやすく利用しやすいユニバーサルデザインの視点を持つ
- ・ 外国人、障がいのある区民などの情報取得の特性に配慮

訪問者（観光客、来訪者など）

国内からの観光客  
国外からの観光客



回避性

ビジネス来訪者  
その他の来訪者



誘導性

車両系サイン



誘導性  
的確さ・見やすさに配慮

歩行者系サイン



回避性・誘導性に配慮

標記方法

- ・ 多言語に対応する
- ・ 障害者に配慮する
- ・ 視認性・誘導性を高める工夫をする
- ・ 関連事業との連携を図る
- ・ 区民からの情報発信を活用する
- ・ 地域力を活用する

施設利用者

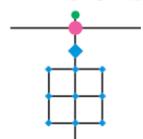
- ・ 区民 ⇒ 地域内・施設内のサインの充実
- ・ 区外からの利用者 ⇒ 最寄り駅からの誘導性の確保

【引用：大田区サイン基本計画～大田区サイン整備の基本的考え方～（H21年9月大田区）】

・ 駅前広場は来訪者の起点であるため、各施設の位置関係、経路などを総合的に案内する必要がある。

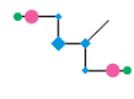
○ 配置の基本

- ・ 階層配置：行動の起点を特定し、そこから不特定の終点に向かって配置する。
- 駅を中心とした一般的な都市部



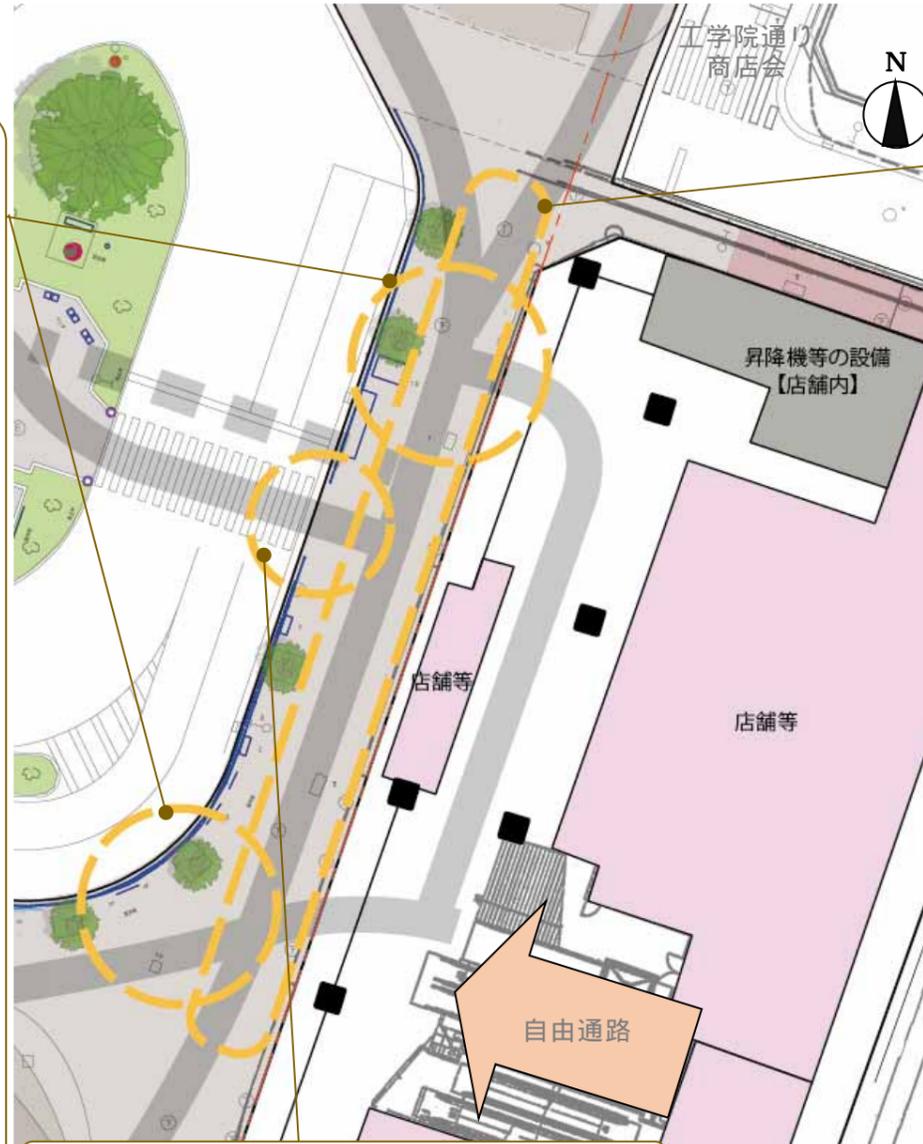
・ 線条配置：行動の起点と終点を特定し、その間の要所に配置する。

→ 深大寺等の観光ルート、植物園や公園内の歩行経路案内



- <凡例>
- 案内サイン
  - 誘導サイン
  - 位置サイン

【引用：調布市公共サイン整備方針（H24年3月調布市）】



3. 西側方面を円滑に結ぶ歩行者空間の形成

段差の解消整備



2. 駅ビル前面、南北方向を結ぶ歩行者空間の確保

歩行者空間の確保



歩行者を安全に誘導するための街路灯の設置



凡例

- 樹木
- 街灯
- ボラード
- ベンチ
- 植込み
- 信号機・標識
- 横断防止柵
- 案内板
- 電話BOX
- シェルター
- 電線地中化地上器等
- ← 歩行者動線
- 計画のポイント
- 既存の舗装イメージ

計画の基本方針

- ・ 駅ビルから商店街へ円滑に結ぶ歩行者空間づくり
- ・ にぎわいや憩いを感じる空間づくり

1. 商店街やまちを円滑に結ぶ歩行者空間の改善
2. イベント開催などによるまとまったオープンスペースの確保
3. 利用目的に応じた歩行者広場のデザイン

<初動期整備 イメージ>

1. 商店街やまちを円滑に結ぶ歩行者空間の改善

歩車道の段差解消



植栽帯の撤去整備



3. 利用目的に応じた歩行者広場のデザイン

1) 駅前の待合せなどに利用できるシンボルの設置  
例：樹木、時計台、オブジェなど

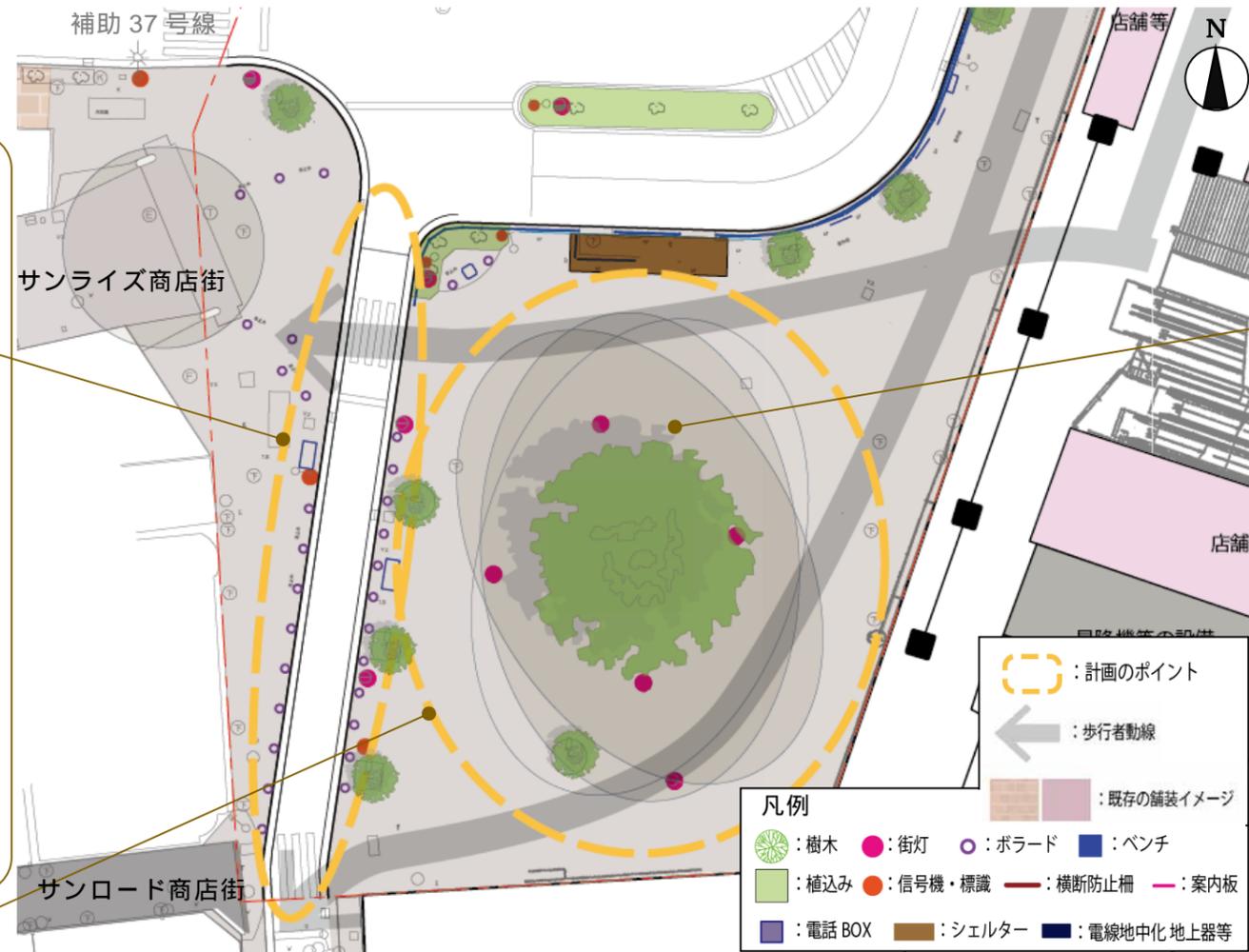


2) イベント広場として活用出来るスペースの確保

イベントなどの催し物開催のため、広場中央にオープンスペースを確保したイメージ



3) 特徴的な場所である事を明示するシンボルの配置



2. イベント開催などによるまとまったオープンスペース活用

イベントなど駅前でもちの活動が見られるスペース



計画の基本方針

- ・ 駅前広場と商店街をつなぐ歩行者空間づくり
- ・ 駅前広場を横断する安全な歩行者空間づくり

1. 交通島歩行者動線の改善
2. 駅前広場として一体感のある歩行者空間

<初動期整備 イメージ>

1. 交通島歩行者動線の改善

植栽の移設および柵の撤去整備

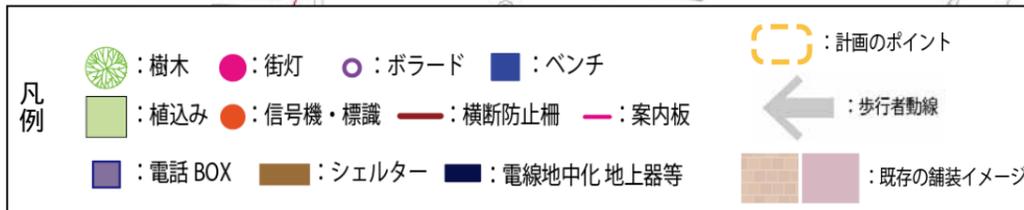


「梅ちゃん先生」放送記念植樹の移設

円滑な歩行者動線の形成



植栽柵の撤去により西側への円滑な歩行者動線を形成



2. 駅前広場として一体感のある歩行者空間

分かりやすいサインや看板、街路灯等の統一



西側の街路灯 (現況)

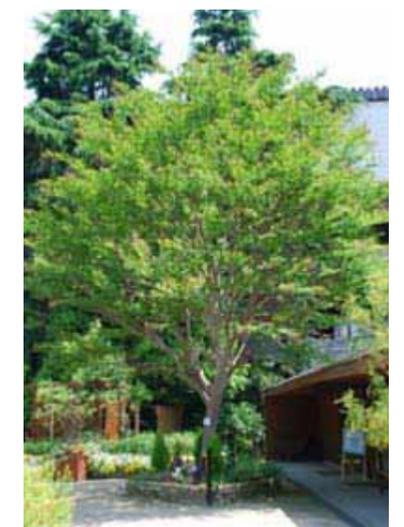


西側の舗装 (現況)

統一した樹種による植栽配置



足元空間がすっきりとした見通しのある樹種 (けやき)

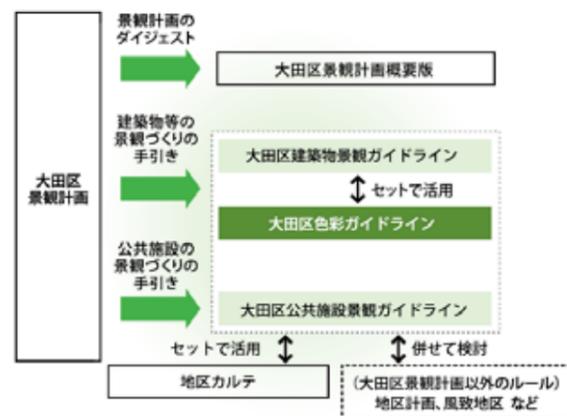


四季の変化のある樹種 (例:シマサルスベリ)

### 3) 蒲田駅前広場とその周辺建物の色彩や緑の考え方

#### 上位計画での位置づけ

- ・地域特性を反映したきめ細かい良好な景観を形成することを目的として、景観法を根拠とする「大田区景観計画」を策定。
- ・大田区内の場所に応じた景観形成の目標や方針が整理されており、建築物等の景観づくりの手引きとして建築物・工作物などの色彩については「大田区建築物景観ガイドライン(大田区色彩ガイドライン)・大田区公共施設景観ガイドライン」がある。



#### 色彩の方向性(地域特性に応じた色彩の例示)

抜粋：大田区色彩ガイドライン(H25年10月)

- ・拠点的な商業地では、周辺との連続性に配慮しつつ、強調色等をポイント的に用い、品格のある景観形成を図ります。

#### 例) 駅前商業地

5Y9.2/1	5Y8.5/1
2.5Y8/2	7.5YR7/3
5GY7.5/0.5	7.5R7/3

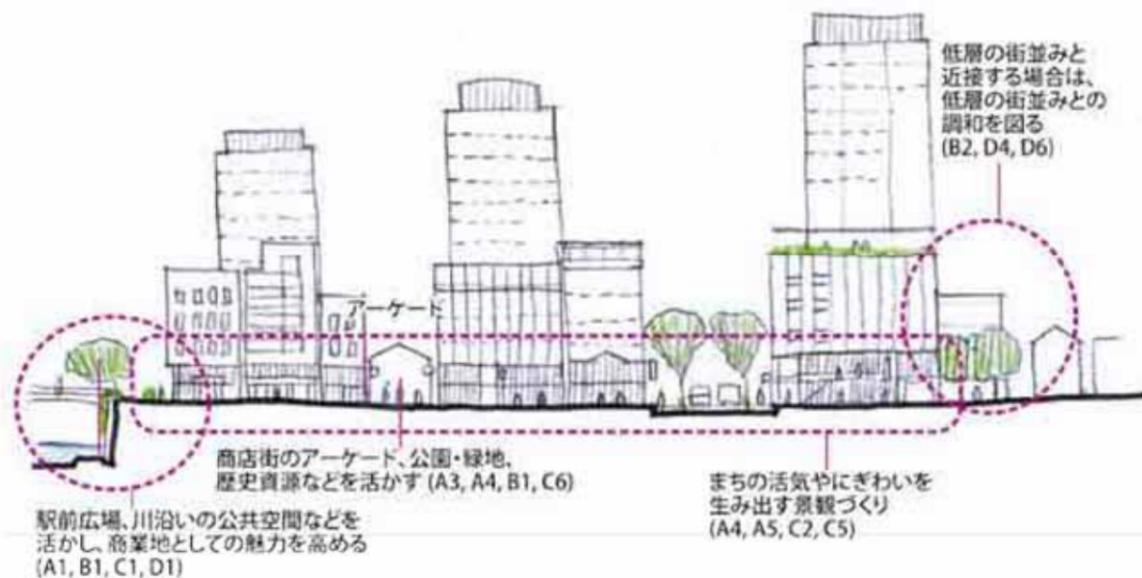
尚、右の色見本は印刷物によって実際とは異なる場合があります。

#### 市街地類型ごとの景観形成 拠点商業市街地

抜粋：大田区建築物景観ガイドライン(H25年10月)

#### 景観形成の目標

区の顔となるべき地区として、商業が主体の活気やにぎわいを感じさせる景観づくり



#### 景観形成の方針

- (1) まちの活気やにぎわいを生み出す景観づくりを進めます。
- (2) 商店街のアーケード、公園・緑地、歴史資源などを活かします。
- (3) 駅前広場、川沿いの公共空間などを活かし、商業地としての魅力を高めます。
- (4) 低層の街並みと近接する場合は、低層の街並みとの調和を図ります。

#### 形態・意匠・色彩(色彩に関する記述を抜粋)

- ・色彩は色彩基準に適合するとともに、商業業務地の一体性や連続性に配慮する。商業地としての一体性や連続性に配慮した、にぎわいや親しみのある色彩を誘導。

#### 公開空地・外構・緑化(緑化に関する記述を抜粋)

- ・緑化は樹種の選定に配慮し、街路や周辺の景観との調和を図るとともに植物の良好な生育が可能となるよう、植栽基盤を工夫する。

#### 駅前広場(歩行空間・道路空間)の色彩や緑の考え方

#### 色彩について

##### [現況]

- ・駅前広場に面する周辺建物や屋外広告物は多彩な色が溢れている。
- ・歩道部はガムなどによる汚れが目立つ。

##### [計画]

- ・駅前広場の色彩は周辺と競合せずに、且つ汚れが目立ちにくい色調を基本とする
  - にぎわいを表現した暖かみ(あるいは親しみ)のある色彩 ⇒案1
  - 個性(蒲田モダンなどの歴史)や清潔感を表現した落ち着きのある色彩 ⇒案2

#### 緑について

##### [現況]

- ・駅前広場南側や交通島にある大木(クスノキ)
- ・駅前広場の周囲に配置されている高木(クスノキ・ケヤキ)や低木(植え込み)については一部が歩行者動線の妨げとなっている。

##### [計画]

- ・安心、やすらぎ(緑のうるおい、地球環境)に配慮し、周辺建物や広告物との調和を図るために現在の高木をできるだけ活用
- ・歩行者動線の改善や清潔感を向上させるために一部の高木や低木(植え込み)を再配置し、駅前に緑陰空間をつくる

#### 4) 西口駅前広場 全体イメージ

##### 案1：にぎわい（出会いや交流）を表現した暖かみのあるイメージ

特徴：車道色（濃い灰色）と違う有彩色

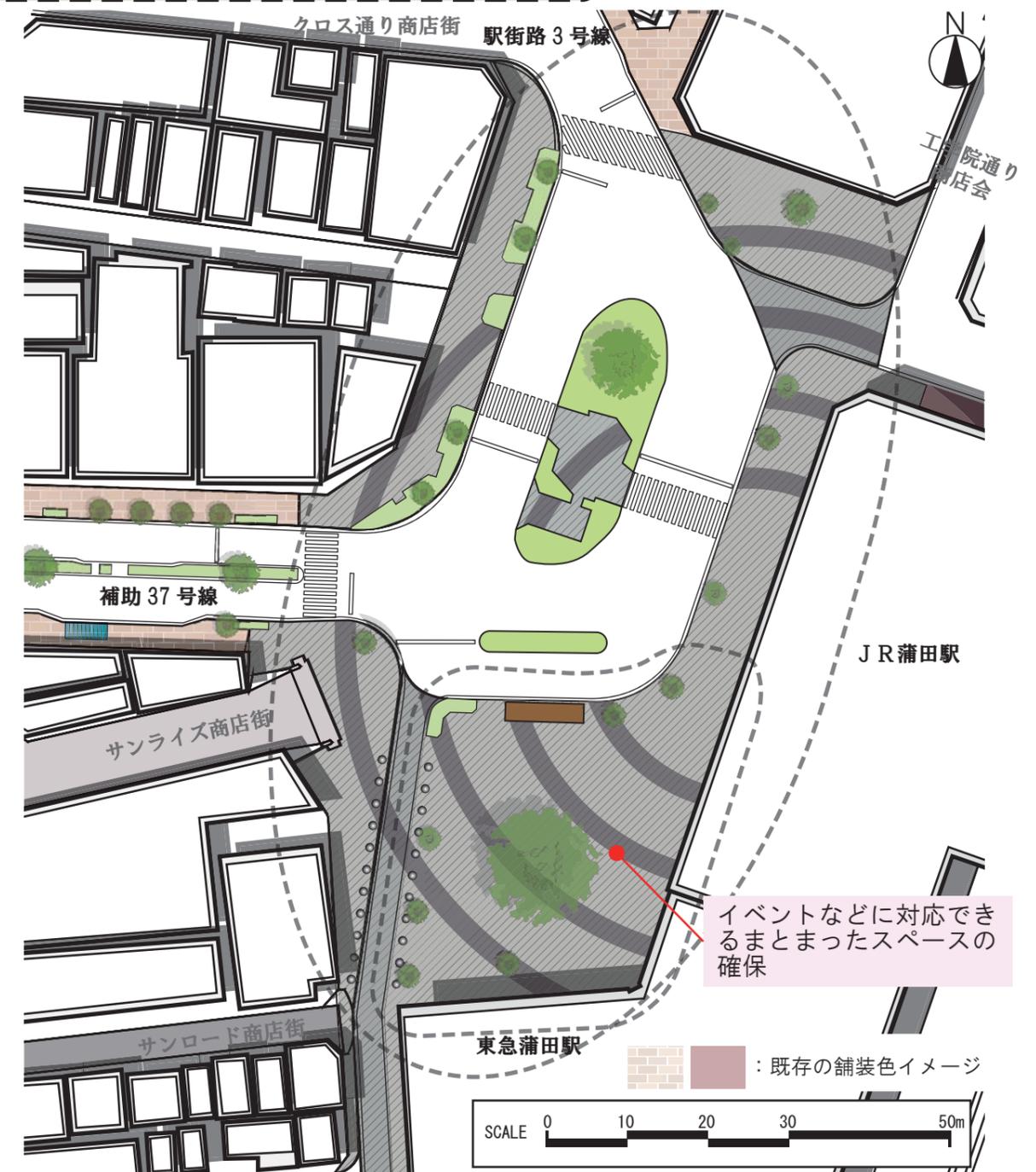
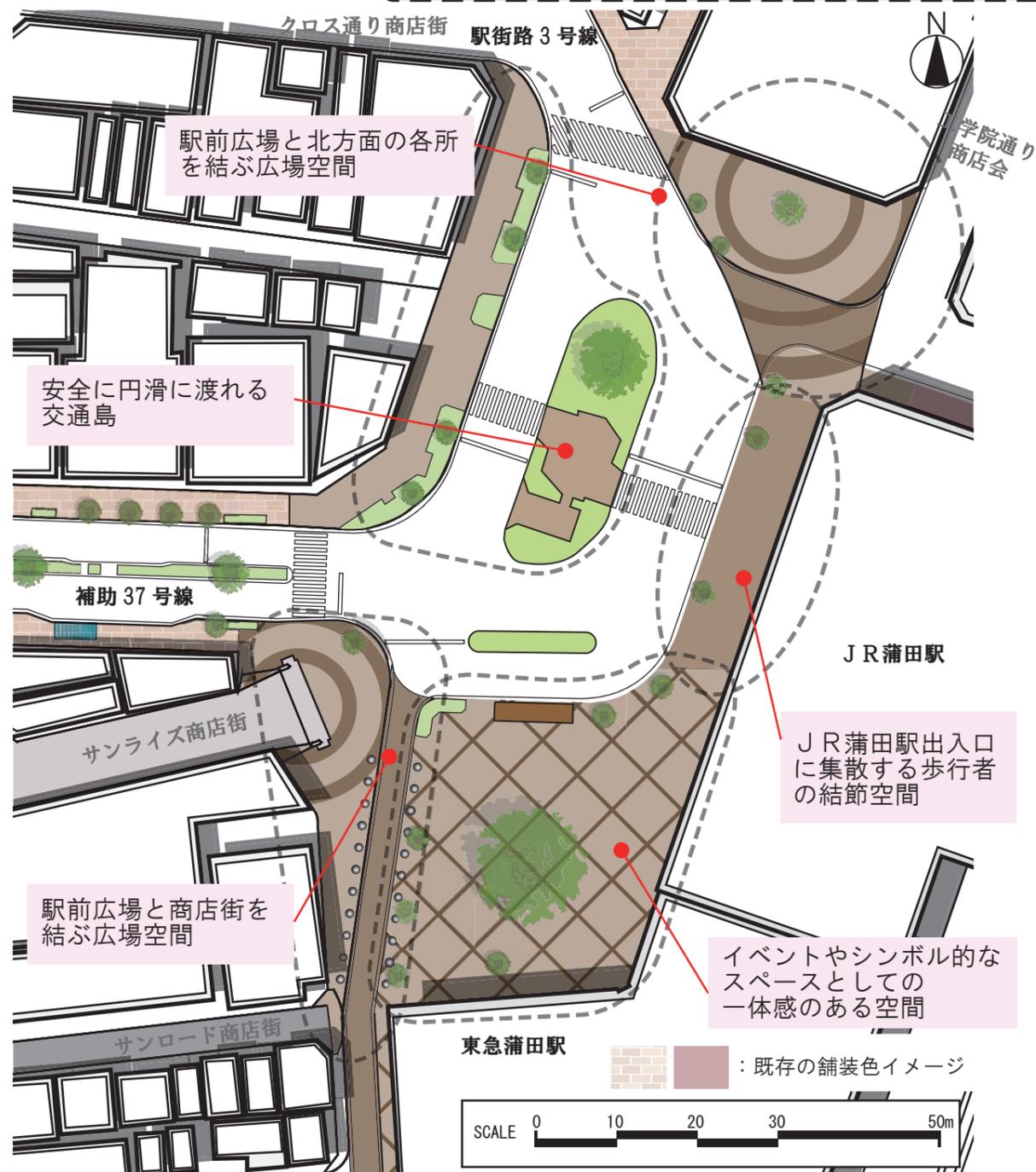
- ・人が集まるスペースや行き交うスペースに合わせて、方向を示すなどした特徴を持った舗装デザイン
- ・出会いや交流などのにぎわいを表現しながらも、誘導用ブロックの輝度比に配慮した明るめの暖色を採用

##### 案2：モノづくり蒲田のモダンさを表現した落ち着きのあるイメージ

特徴：車道色（濃い灰色）と同じ無彩色

- ・駅前広場に面する歩道の舗装デザインを統一し、一体感を表現
- ・駅周辺の多様な色彩に配慮した落ち着きのある色を採用

共通事項：・緑については北側の高木を一部移設、低木（植え込み）はその他の施設や周辺とのつながりを考慮し配置を検討  
・駅ビル（JR、東急）や周辺街区建物の屋外広告物などの調和については今後の検討調整事項とする。



まちのイメージ評価指標	にぎわい	清潔感	個性	安心・やすらぎ
	◎	○	◎	◎

まちのイメージ評価指標	にぎわい	清潔感	個性	安心・やすらぎ
	○	◎	◎	◎

## 5) その他検討課題

・現況把握と課題の抽出から、次回以降は以下の項目について検討・整理を行う。

### 1)案内板について

- ・配置の考え方
- ・掲示内容について

### 2)照明について

- ・配置の考え方
- ・街路灯のデザイン

### 3)モニュメントについて

- ・配置の考え方

### 4)植栽について

- ・配置の考え方
- ・樹種の選定
- ・記念樹の移設先

### 5)その他